

いっしょにみくんの

お姉ちゃん

作 中原久典

宇佐美 あかね

宇佐美 健太

松田 欽二

溝呂木 友佑

神田 早和

玉井 絢香

甲斐田 舞

田所 万梨

鈴木 桃子

柳井先生

放課後の教室。遠くから、野球部の声が聞こえる。教室には、1人の男子生徒（宇佐美健太）と2人の女子生徒がいる。男子生徒は黙々と勉強をしている様子。2人の女子生徒は女子トークに華を咲かせている。2人のけたたましい笑い声。

どう、どう？似てる、似てる？

似てる、似てる！ああーおかしー！

（声色を変えて）「いいですか、明日はちゃんとやってくるんですよ」

（爆笑）あははははは・・・

「いいですか」

（爆笑）待つて待つて、お腹いたーい！

あーおつかしー、そこまで笑ってくれると私もうれしいわー。

だつて似てるんだもーん。

そんなに？

うん。ねえ、うさみくん、似てるよねー。

ああ、うん。

えー本当にー。どこらへんが似てる？

ああ・・・あのー、顔が・・・

（大爆笑）

2人の大爆笑に、ちよつと迷惑そうな健太。

田所

やっぱ、顔か。顔か。

鈴木

そう、特にそのあごが葛城にそっくりなのよお。

田所 ああ、おつかしー、じゃ、そろそろ、職員室に持っていくわ。
鈴木 あ、ちよつと待ってよ。私もいっしょに行くー
田所 宇佐美くん、お先にー
鈴木 ねえねえ、これ持っていったら、葛城なんて言うと思う？
田所 「遅かったですねえー」
鈴木 (爆笑)

2人、教室から出て行く。
1人残った健太、教室のドアをしばらく見つめ、

健太 ウゼッ

健太、勉強を始める。遠くから吹奏楽部の練習の音が聞こえ始める。健太、ドアまで行き、教室のドアを閉める。健太、再び机につき、勉強を始める。しばらくがんばっているが、眠気におそわれうとうとし始める。健太が、寝たところで、教室のドアが開く。2人の女子校生が入ってくる。

あかね (健太の頭をはたき) ころら。

健太 (寝ぼけながら) 何？

あかね ころら。

健太 (状況を把握して) うわっ、姉ちゃん！

神田 おっはよー

あかね うわっ、じゃないでしょ！何やってんのよ。

健太 何って、勉強・・・

あかね
はあ？

神田
（健太のプリントを見て）あ、今日提出分？居残り？

あかね
言ったでしょ。自転車、貸してって。

健太
ああああ！！！！

あかね
ずっと待ってたんだからね。

健太
ああああ！！！！ごめん！

あかね
ごめんじゃないでしょ！

神田
あかね、こわいよ。

あかね
怖いって、当然よ。5時から、タイムセールなんだから。サービス品、買えなかったときは、あんたの小遣いから減らすから。

健太
えー！

あかね
当たり前でしょ。うちがどれだけ厳しいかわかってるでしょ。

健太
だから、謝ってるじゃん。

あかね
早和（さわ）ちゃんにも謝りなさいよ。ずっといっしょに待ってくれてたんだから。

神田
私はいって。でも、健太くん。厳しいお姉さんを持つと大変よね。

健太
そうなんすよ。うちの姉ちゃん、気が強くて、大変すすよ。

神田
大変よねえ。じゃあ、たまには、優しいお姉さんと遊んでみる？

健太
えっ、いいんすか？

あかね
（健太の頭をはたき）何、にやついてんのよ！早和ちゃんも、誘惑しないで。最近、

健太
妙に色気づいてんのよ、こいつ。

あかね
いててて・・・色気づいてなんかねえし。

健太
色気づいてるじゃない。だいたい何なのよ。その髪型は！左右の長さ、そろえなさいよ！

あかね
これは・・・些細なおしゃれだし・・・

あかね
はあ？

神田

あかね、いいじゃん。健太くんも、年頃なんだし。髪の毛の左右の長さが違うのが、おしゃれってんだから、かわいいもんじゃない。眉毛剃ったり、鼻にピアスしないだけ、まだましょお。

あかね
健太

そんなことしたら、ピアスひっぱって、鼻、ひきちぎるから。
怖いよお・・・

さらに2人の女子生徒、甲斐田舞と玉井絢香が入ってくる。

玉井

あ、いたいた〜。

神田

あ、絢ちゃん、舞ちゃん！

あかね
甲斐田

どしたの2人も？
いやね。さつき、あかねが弟くんのところに行くって言ってたから、2人で見に行こうっていう話しになって。(松木に) ね！

玉井

ねえー！

2人とも部活いいの？舞ちゃん、コンクール近いんですよ。

あかね
甲斐田

いいの、いいの。(健太に) 私、お姉ちゃんの友達の甲斐田です。吹奏楽部です。

玉井
健太

私は玉井絢香、バレー部です。
ども、弟の健太です。

玉井
甲斐田

うわっ、イケメン！
あ、ホントだー！

健太
甲斐田

そんなことないっすよ。
またまたー。

玉井
健太

もてるでしょー。
いや、そんなことないですって。

甲斐田

じゃあ、これからじゃない？

玉井

きつともてるわよー

健太

そおつすか？

あかね

(頭をはたく) 何、調子にのってんの！

神田

あかねさ。かわいい弟なんだからさ、もう少し優しくしたら？

健太

(かわいく) そうなんですよ。僕、かわいいですよねえ。

あかね

なぐるよ。

玉井

ねえ、健太くん。

健太

はい？

玉井

お姉さんって、好きな人いるの？

健太

はい？

あかね

いないって。

甲斐田

いつも聞いてんだけど、好きな人を言わないの。

玉井

私たちがいめんなんだから、言っほしいよねえ。

あかね

いないって。

神田

女子校生なんだから、好きな男の子ぐらい、いるわよねえ。

あかね

だから、いないって。

健太

(女子校生っぽく) 普通、いるわよねえ。

あかね

(激しく) いないって言ってるでしょお！

神田

あかねさ、そういうところを私たちは気にしてんのよ。

玉井

そうそう。

神田

早く、恋でもしたら？

あかね

いいって。

甲斐田

彼氏ができたら一曲、演奏してあげるからさ。

あかね

いいわよ、そんなの恥ずかしいし。

神田

男子のことより、スーパールのタイムセール、気にしている女子校生なんていないよ。

あかね

はっ、今何時？

神田

4時半。

あかね

まだ間に合う！健太、早く宿題終わらせて、家に帰るのよ！今日は、健太が洗濯当番だからね。

あかね、叫びながら教室から出て行く。

神田

まるで、嵐のようね。

健太

俺にとってはアンパンマンみたいですけどね。

玉井

え？何それ！。

健太

姉ちゃん、似てませんか？アンパンマンに。

神田

は？

健太

ほら、こうやって鼻の上にグーをつくとそっくりなんすよ。ほっぺも赤いし。

神田

あんた、ほんとに鼻、引きちぎられるわよ。

健太

(鼻を隠して)痛ってー。

神田

いいお姉さんじゃない。ああやって、一生懸命に家事やって、勉強もしてさ。

健太

まあ、そうなんですけどね。

再び、あかねが入ってくる。

あかね

(健太に手を出し)はい！

健太

へ？

あかね

カギ、自転車の。

健太

ああ。

健太、かばんから自転車のカギを取り出し、あかねに渡す。

健太

はい。

あかね

早く宿題、終わらせて家に帰るのよ。寄り道したら、ただじゃおかないんだから。それから、洗濯当番、この前、さぼったんだから、今日は忘れちゃだめよ！。

あかね、叫びながら、廊下を走っていく。

神田

やっぱ、嵐よね。じゃ、健太くん、また。

健太

あ、先輩達、もし良かったら宿題、手伝ってくれませんか？

神田

ごめんねえ。この後、委員会の仕事があるから。私たちも部活あるし。

健太

そうですねえ。でも、早く終わったら、顔出すかも。ほんとっすか。

神田

ま、期待しないで、待ってて。じゃ。じゃあね！。

玉井

おつかれさまでした！。

健太

神田・甲斐田・玉井、教室から出て行く。その後、男子生徒、松田が入ってくる。

松田

うす。

健太

おお、まつきん。

松田

大変だな、洗濯当番。

健太

聞いてんじゃねえよ。

松田

あれだけ大声で叫べば、聞こえるよ。

健太

まあ、そうか。

松田

姉ちゃん、タイムセール、間に合うといいな。

健太

いつから聞いてんだよ。

松田

いや、ずっと教室の前にはいたんだけどな。

健太

何だよ。早く、入ってこいよ。

松田

おまえの姉ちゃん、苦手なんだよなあ。俺のこと、嫌ってるみてえだし。

健太

そんなことねえよ。男はだいたい嫌いなんだよ。

松田

やっぱ、嫌いなんじゃねえか。

健太

いやそれはな、一般的な男が嫌いってだけで、おまえは違うよ。

松田

それは俺が一般的じゃないってことか。特殊ってことか？

健太

そういう意味じゃなくて・・・まあ、いや。で、なんか用事か？

松田

ああ、そうそう。

まつきん、教室のドアに向かい、廊下に向かって

松田

いいぞー、入ってこいよー

健太

え、誰？

しばらくすると、1人の男子生徒が顔をのぞかせる。

松田 ほら、な、いないだろ。

溝呂木 (うなづく)

松田 入れるか。

溝呂木、おそろおそろ教室に入ってくる。その様子はどこか挙動不審。

松田 (健太に) こいつ、知ってる？

健太 ああ、うちのクラスの・・・みぞろぎくん？

松田 おお、おまえのこと。名前を覚えてくれてるぞ。

溝呂木 (無反応)

健太 クラスメイトだからさ、当然だよ。

松田 おお、おまえのこと、クラスメイトって、認識してくれてるぞ。

溝呂木 (無反応)

健太 いや、というか。个性的だし。

松田 おお、おまえのこと个性的だっ・・・

健太 もういいよ。で、何？

松田 あ、(溝呂木に) ゆうすけ、早く取れよ。

溝呂木、自分の机の中を探り始める。

松田 こいつさ、俺の友達でさ。名前は、溝呂木友佑(みぞろぎゆうすけ) っただけどさ。

あ、知ってるよな。

健太 いや、下の名前は初めて聞いた。

松田 いつもは保健室にいてな、授業のときだけ、教室に行くんだよ。放課後は保健室に俺が

迎えに行つて、一緒に帰るんだけど。(溝呂木に) おおい、こっち来いよ。

溝呂木、松田の傍に立つ。

松田

それで今日は、教室に忘れ物したっていうから、一緒にきてやったんだよ。

(溝呂木に) あったか？

溝呂木

(うなづく)

松田

(溝呂木に) こいつ、学食友達の宇佐美健太、顔ぐらいみたことあるだろ。

溝呂木

(うなづく)

松田

ほら、あいさつぐらいしろよ。

溝呂木、一歩、前を出て、会釈をする。

松田

自己紹介ぐらいしろよ。

健太

いいよ。無理にしなくても。

まつきん、溝呂木の背中に手をあてて、

松田

(腹話術のように) ぼく、みぞろぎのゆうちゃん、よろしくね！

健太

まつきん、悪いって。

松田

大丈夫だって。なあ、ゆうすけ。

溝呂木、笑ってる。

健太 笑ってる。
松田 な、大丈夫だろ。こいつこんなの、結構、好きなんだよ。
健太 そうか。ねえ、溝呂木くん。

溝呂木、表情が一変し、こわばった表情。

健太 あ、ごめん。何か、悪いこと言った？
松田 ごめんな。悪気があるわけじゃないんだ。初めての人は苦手なんだよ。
健太 おお、そうか・・・

話しが続かず、微妙な空気が流れる。

松田 (健太に) おい、なんか言ってるよ。
健太 え、ああ。

松田 こいつ、友達がいらないんだ。だから、クラスで健太が話し相手になつてくれると
うれしいと思うんだよ。なあ、ゆうすけ。

溝呂木 (やや間があつて、うなづく)
健太 今、ちよつと悩んだぞ。

松田 そんなことねえよ。
健太 あ、あの、俺のこと知ってる？宇佐美健太。よろしく。

溝呂木 (うなづく)

健太 あの、さ、溝呂木くんのは、何て呼べばいい？
松田 ゆうすけでいいよ。小学校の頃からゆうすけだから。なあ、ゆうすけ。
健太 まつきん、ちよつと黙ってるよ。

松田 ああ、そつか。わりい、わりい。

健太 俺も、ゆうすけって呼ばせてもらっていい？

溝呂木 (うなづく)

健太 じゃあ、ゆうすけ。

溝呂木 (うなづく)

健太 な、なんか初めて話すのって緊張するよな。

溝呂木 (うなづく)

健太 いつも授業の途中に出たり入ったりするよな。あれ、なんで？

松田 ああ、それは俺から説明するよ。それはな、

健太 まつきん、頼むから。

松田 ああ、ごめん、ごめん。どうぞ。

健太 あのさ、俺たちも気になってただけだよ。ごめんな、声もかけなくて。

松田 (首を横にふる)

健太 あの、ゆうすけさ。良かったら声を聞かせてくれる？

遠くから、女子の声が聞こえる。その声を聞いたとたん、溝呂木がまつきんの後ろに隠れる。

健太 えっ

しばらくすると、田所と鈴木が入ってくる。

田所 あのはげ。むかつくわあ。ちゃんとやったんだから、いいじゃんねえ。
鈴木 ホント、それだよねえ。

田所

いちいち、質問するなって。

ホント、ホント。

田所

答えられなかったら、自分でやってないだらって、アツタマくるわあ。

鈴木

おお、まりちゃん。よしよし。私がなぐさめてあげるから。

田所

うさみくーん。ねえ、聞いて聞いて。葛城のはげさあ、宿題ちゃんとやって持っていたのに、自力でやってないからだめだって。職員室に来て、先生の前で自力で解いてみるって。筆記具ないって言ったたら、取りに行つてこいだって！

健太

ああ、そうなんだ。

田所

ねえ、ひどいと思わなーい？

鈴木

(座っている溝呂木に気がつき) ねえ、まりちゃん。あれ！

田所

(溝呂木を見て) うわっ、何で？

鈴木

田所、鈴木、2人で顔を見合わせ、笑う。

田所

溝呂木、2人からの視線を感じたとたん、お腹を押さえる。

鈴木

早く、終わらせて帰ろうよ。

田所

桃ちゃん、ごめんねえ。待たせて。でも、終わるかなあ。葛城のはげ、しつこいし。

鈴木

大丈夫。大丈夫。桃が応援してるから。

田所

桃ちゃん、ありがとー。

鈴木

でも、葛城のはげ方ってやばくない。

田所

やばい、やばい。

鈴木

葛城、はげやばー！

田所

っていうか。はげキモー

鈴木

はげキモー！

田所 はげキモー！
鈴木 キモー！
田所 キモー！

田所、鈴木の2人、明らかに溝呂木に対して「キモー！」を連呼しながら教室を出て行く。

健太 ああ、ウゼッ
松田 あいつら、雰囲気悪いな。
溝呂木 あ、あ、あー！

次の瞬間、溝呂木がお腹を押さえながら、椅子から立ち上がる。何かを我慢している様子。どうも便意を我慢しているようだ。

松田 ゆうすけ！大丈夫か？
溝呂木 あっ、あっ、
健太 えっ、何、何？

溝呂木の我慢している動きがだんだんエスカレートしていく。

溝呂木 あっ！あっ！！あっ！
健太 えっ、何？何が始まるんだよ。
松田 ここじゃだめだぞ。ここで産んじやだめだぞ。
健太 産まれる？何が、何が産まれるんだよ。

溝呂木、我慢の限界、だがぐつとこらえる。

松田 耐えろ！耐えろ！ゆうすけー！た、え、ろ！た、え、ろ！

溝呂木 ぐつ！！！！

松田 耐えろー！

溝呂木 ああああああ！（なんとか耐えた）はあ、はあ、はあ、はあ・・・
松田 耐えたか。よーし、よく我慢した。

溝呂木 （健太をにらみながら）はあ、はあ、はあ、はあ
健太 こえーよ。

松田 ああ、すまん。すまん。

健太 今の何なんだよ！

松田 まあ、なんというか。発作だよ。一種の、
健太 発作？何の？

松田 急に腹痛に襲われるんだよ。だから、我慢してるんだよ。

健太 トイレに行けばいいんじゃないか！

松田 これは訓練なんだよ。訓練。

健太 トイレを我慢する訓練って何なんだよ。

松田 だから、そういった訓練なんだよ。

健太 意味がわからん。

松田 （溝呂木に）もう大丈夫か？

溝呂木 （うなづく）

松田 こいつさあ、もともとお腹が痛いつて、よく保健室に行つてたんだけど、中学の
ときにな、我慢しきれなくて、教室でもらしたことがあるんだよ。

健太 おまえは、個人情報もらしてるよね。

松田 お、上手い！

健太 上手いじゃねえよ。いいのか、そんなこと言って。

松田 いや、なんだかさ。おまえのこと嫌いじゃないみたいだし。なあ、ゆうすけ。

溝呂木 (やや間があつてうなづく)

健太 だから、今、考えたよね。

松田 そんなことねえよ。それでさ、女の子と話しができなくなっちゃたんだよ。

健太 いや、全然わかんねえし。

溝呂木、笑い始める。

松田 おお、ゆうすけ、おもしれーか！やっぱ、おまえのこと好きみたいだな。

健太 そうかあ？で、なんで、女の子と話しができなくなっちゃんだよ。

松田 ああ、それな。もらった後、後ろにいた女の子からさ、言われたんだって。

健太 何て？

松田 くさいから、近寄らないでって。

健太 それ、ひどいな。

松田 それを言った子が、クラスでも物静かなタイプの子でさ、ゆうすけもしゃべらない

方だし、その子のこと気に入ってたから、よけいにショックも大きくてさ。

健太 そりゃそうだよな。

松田 それからずっと保健室登校。少しはましになったけど、女子は今でも苦手でさ、プレッシャーを感じると、お腹が痛くなっちゃうんだよ。

溝呂木、お腹を押さえる。

松田 お、わりい。ゆうすけ、また思い出したか。大丈夫か。

溝呂木 (うなづく)

健太 それで、さっきの女子のせいでお腹が痛くなったのか。

松田 そういうこと。

健太 そうか・・じゃあ、授業の途中に出たり入ったりするのは、
トイレに行ってるんだよ。

松田 ああ、それで席がいつも後ろなんだ。

健太 そういうこと。授業中は我慢できればいいんだけどな。

松田 そうか・・じゃあ、もしかしてさっきのは

健太 あれが、トイレを我慢する訓練だよ。

松田 ええ！あれが？

健太 トイレに行って、授業に出られないと欠課になっちゃうだろ。だから、俺といっ

松田 しよにいるときは、ああやって訓練してるんだよ。

健太 でも、授業中にあれを始めるとみんな驚くぞ。

松田 問題はそこなんだよ。じつと我慢できればいいんだけどな。

健太 今のままじゃだめだろ。

松田 溝呂木、落ち込む。

健太 ああ！ごめん！

溝呂木 (首を横にふる)

健太 そういう意味じゃないんだよ。・・・本当にごめんな。

溝呂木 (うなづく)

健太

溝呂木

溝呂木

健太 許してくれるのか？

溝呂木 (うなづく)

健太 ゆうすけ、おまえいいやつだな。大丈夫だよ。いつかきつと普通に我慢できるようになるよ。

溝呂木 (うなづく)

健太 そうだ！今度、お腹が痛くなったら、俺も応援してやるからな。

溝呂木、ほほえむ。

松田 ほらな、やっぱ健太のことが好きなんだよ。

健太 そうかあ？でもさ、ゆうすけ。

溝呂木 (健太を見る)

健太 家ではどうしてんだよ。お母さんの声を聞くだけでもお腹が痛くなるのか。

溝呂木 (首を横にふる)

健太 それは大丈夫なのか。じゃあ、ゆうすけ、他に女の家族はいないのか？

溝呂木 (妙なジェスチャーで姉を表現)

健太 口で言えよ。

溝呂木 ・····ねえ····ちゃん

健太 お、姉ちゃんか！俺もそうなんだよ。姉ちゃんがいるんだよ。

溝呂木 (うなづく)

健太 そうなんだよ。姉ちゃんがいるんだよ。姉ちゃんとは話しできるのか？

溝呂木 (うなづく)

健太 なんだ。女の人と話しができるんじゃない。姉ちゃんって、優しい人？

溝呂木 (うなづく)

健太 そうか。いいなあ。優しい姉ちゃんで。俺の姉ちゃんは、気が強くてさ。こえーんだよ。口うるさくてまるで母親みたい。

(うなづく)

溝呂木 顔はな、アンパンマンみたいなんだよ。

健太 アンパンマン！？

溝呂木 お、急にしゃべりだしたな！興味あんのか、うちの姉ちゃん。

健太 興味があるのはアンパンマンなんだよ。な、ゆうすけ。

松田 そうか、ゆうすけ、アンパンマン好きなのか。じゃあ、うちの姉ちゃんも気に入ると

健太 思うよ。なあ、ゆうすけ、大丈夫だよ。きっと、他の女子とも普通に話しができるよ

うになるって。

溝呂木 ・・・・(うなづく)・・・

健太 なあ、まつきん。どこからか、やさしそうな女子をつれてこいよ。

松田 俺も話せると思うんだけど、やっぱ、初めての人だと緊張するんだよ。今は、がまん

するのがやっとみたいだし。

教室のドアが開く。入ってきたのは、姉のあかね。

あかね 健太！

健太 うわっ、姉ちゃん！

松田 出たー！

溝呂木、椅子に座り、お腹を押さえ始める。

健太 何だよ。姉ちゃん。スーパーに行ったんじゃないのかよ。

あかね あんた、自転車、どこ置いたのよ。
健太 え？1年の駐輪場だけど？
あかね なかったわよ。
健太 え、そんなことねえよ。
あかね じゃあ、なんであんたの自転車が体育館前にくさりでつながれてんのよ。
健太 あ！やつべー。
あかね どこに置いたのよ。
健太 今日、遅刻しそうだったから、くつ箱の傍に置きっぱなしで・・・
あかね どこ置いてんのよ！
健太 あとで、もどそうと思ってたんだけど。
あかね ったく！
健太 じゃあ、スーパーは・・・
あかね もういいわよ！

あかね、松田に気づく。

松田 こんにちは。
あかね あら、松木くん、今日は学食じゃないのね。
松田 今日は、ちよつと、あいつ（溝呂木）の付き添いで。
あかね そおなの。あんまり、健太の居残りのじゃましないでね。
松田 わかってますよ。うさみ、今日、洗濯当番でしょ。
あかね 何で、知ってるのよ！
松田 いや、ちよつと。あ、それとお姉さん、僕の名前は松田です。『まつだきんじ』で、『まつきん』です！

健太 (教室の隅に行つて、大きな声で) おお！まつきん！

あかね あんたたち、おかしいわよ。(溝呂木に) あなた、お名前は？

溝呂木 (無反応)

あかね 名前ぐらい、教えてくれてもいいんじゃないかな。

溝呂木 (無反応)

健太 姉ちゃん、もつと優しく聞いてやつてくれよ。

あかね ねえ、あなたのお名前を教えてくれないかなあ。

溝呂木 (無反応)

あかね 名前ぐらい、言えよ！こらー！

溝呂木につめよるあかね。急いでそれをとめる健太とまつきん。

健太 まあ、まあ、姉ちゃん。

松田 お姉さん、あんまり、怒ると、もつとしゃべらなくなりますから。

あかね 初めっから、しゃべってないじゃないのよ！

松田 それはそうですけどお。

急な腹痛に襲われる溝呂木。

溝呂木 あ、あ、あ、あー！！！！

松田 やばい！

健太 きたか！

あかね えっ、何？何よ！

松田 おい、ゆうすけ！ここは我慢だ！

溝呂木 あ！あ！！あああ！！！！
健太 ゆうすけ！耐えろ！耐えろ！
溝呂木 あう！あう！！あああああ・・・
あかね 一体、何なのよ、これは！
健太 ちよつと姉ちゃんはだまつてて！
松田 耐えろ、ゆうすけ！耐えろ！たえろー！た、え、ろ！
健・松 た、え、ろ！ た、え、ろ！ た、え、ろ！
あかね あんたたち、本当におかしんじゃないの？
溝呂木 あう！あう！あうううううう！！・・・（何とか耐えた）はあ、はあ、はあ・・・
健太 やったか！やったか！
溝呂木 （うなづく）
健太 よし！ゆうすけ！やったぞ！
松田 ばんざーい！ばんざーい！
健・松 ばんざーい！ばんざーい！

肩を組んで喜びを分かち合う男子3人。

健太 さ、姉ちゃん。もう一度、話しかけてやってくれ。
あかね いやよ！！！！
松田 お姉さん、俺からも頼みます！こいつ、今、お姉さんに耐えようとしてるんです！
あかね どういう意味よ！ちよつと、健太！
健太 何？
あかね （手招きし）こっち！
健太 え、何だよ？

あかね
ちゃんと言明しなさいよ。

え？

あかね
あの子はいつたい何なの？説明しなさいよ。

松田
それは、僕から説明しましょう。

あかね
あんたに聞いてないわよ。

松田
やっぱり嫌われてる。

健太
あの子、簡単に言うとな。あいつ、溝呂木ゆうすけって言うんだけど。女の人が苦手

でな。女子と話すとお腹が痛くなっちゃうんだよ。

何だよ。

あかね
理由は、ちよつと・・・

健太
え？

松田
だから、これはあいつにとつての訓練なんですよ。

あかね
はあ？あ！

溝呂木が、3人に向かって歩いてる。

松田
ゆうすけがこつちに来てる！

健太
え、何で？

松田
さつき我慢できたから、自信ついたんじゃねえか？

健太
でも、緊張してるから、手と足が一緒に出てる。

松田
ゆうすけ、さ、こつちだ！こつちこい！

健太
さあ、姉ちゃん。迎えてやってくれ！

あかね
いや、ムリムリムリムリ・・・

健太
そんなこと言わずにさ。明日も洗濯当番、俺でいいからさ。

健太、あかねを溝呂木の前に押し出す。あかね、溝呂木と対峙する。

あかね
こんにちは

溝呂木

(軽く会釈)

松田

お、反応した！

健太

いい感じ！

あかね

私のこと、怖い？

溝呂木

(首を縦にふりかけるが、すぐに横にふる)

あかね

えっ、どっち？ま、いつか。

話しが続かない2人。

健太

よし、まつきん、このまま二人つきりにするぞ。

松田

えっ、それはまずいだろお。本当にもらしたらどうすんだよ。

健太

いいか、これはチャンスなんだよ。ゆうすけが女子と話しをするチャンスなんだよ。

松田

それは、そうだけだよお。

あかね

何、2人でしゃべってんのよ。

健太

(わざとらしく) あー、しまったー！かつらぎによばれてたの、わすれてたー！

松田

(わざとらしく) そりゃー、おめー、やばいんじゃないのー

健太

(わざとらしく) どうしよー！かつらぎにまたおこられるー

松田

(わざとらしく) おれが、いっしょにいつて、やろーかー

健太

(わざとらしく) じゃー、たのむわー

健・松

(あかねと溝呂木に) じゃー！

健太とまつきん、猛ダッシュで教室を出る。

あかね
あ、ちよ、待ちなさいよー！

溝呂木、お腹に手をあててしやがみこむ。

あかね
あ、大丈夫？

あかね、溝呂木にかけより、手を添える。

あかね
あ、ごめん。

あかね、溝呂木から離れる。

あかね
まだ、お腹痛い？

溝呂木
(首を横にふる)

あかね
急に痛くなるの？

溝呂木
(うなづく)

あかね
大変、だよね。

溝呂木
(うつむく)

あかね

あ、ごめん・・・ったく、どこ行ったのよ、あいつら。あ、あの2人のことを言ったのよ。健太と松木くん。健太は私の弟なんだけどね。あ、知ってるか。健太と・・・溝呂木くん、だっけ？

溝呂木

(うなづく)

あかね

溝呂木くんは健太と同じクラス？

溝呂木

(うなづく)

あかね

そっか。・・・(話すことを考える) 溝呂木くんさあ、健太の髪型、どう思う？

溝呂木

(困惑)

あかね

あいつの髪型って、変でしょ。左右の長さが違うの、絶対、おかしいよね！

溝呂木

(無理やり、うなづく)

あかね

そうでしょ。あの髪型、絶対、変よね。左右の長さを変えるのがおしやれだと思っ

てんだから。困った弟なんだよねえ。・・・ねえ、溝呂木くん。健太、私のこと、何か言っただけじゃなかった？ 口うるさい、とか、気が強いとか言っただけじゃなかった？

溝呂木

(困惑した表情)

あかね

やっぱり言っただけでしょ。まあ、その通りなんだけどもね。他には？何か言っただけ？

溝呂木

(何か言おうとする)

あかね

えっ、何？

溝呂木

(言おうとするがなかなか言えない)

あかね

あ、ムリしなくてもいいよ。

溝呂木

・・・(小さい声で) アンパンマン

あかね

え？

溝呂木

(やや大きな声で) アンパンマン

あかね

アンパンマン？・・・ああ、ったく。あいつ・・・どうせ、私がアンパンマンに似て

るって言っただけでしょ。鼻の前にグーをつくると、似てるって。(実際にやってみる) 似てる？

溝呂木

(うなづく)

あかね

えっ！

溝呂木

(あわてて首をふる)

あかね

あ、いいよ。無理しなくて。

溝呂木

(うつむく)

あかね

そっか、やっぱ似てるんだあ。「元気はつらつ！アンパンマン！」

溝呂木

(少し笑う)

あかね

あ、笑った。(もう一度、やってみせる)「みんな大好き！アンパンマン！」

溝呂木

(もつと笑う)

あかね

(調子にのって)「アーンパンチ！」(本当にあてる)

溝呂木

(驚愕の表情)

あかね

あ、ごめん。痛かった？

溝呂木

(痛そうに、否定する)

あかね

やっぱ、痛かったよね。ごめんね。私、こういうところあるからなあ。すぐに調子

溝呂木

にのつちやうのよね。本当にごめんね。

溝呂木

(首をよこにふる)

あかね

でも、良かった。溝呂木くんが、笑ってくれて。これね。健太がまだ幼い頃、よくや

あかね

つてたの。健太が「みんな大好き！」っていうと、私がね「アンパンマン！」っていう

あかね

うの。そしたらね、健太が思いつきり笑うのよ。あの頃、健太もかわいかったなあ。

溝呂木

今はにくたらしいけどね。

溝呂木

きらい・・・なんですか？

あかね

え？・・・そんなことないよ。口では、こう言ってるけど、本当は大切な弟。これか

溝呂木

らも力を合わせて一緒に生きていけないといけないし。

溝呂木

(不思議そうに見る)

あかね

あ、うちさ、お母さんいないの。お母さん、私たちが幼い頃に亡くなって、今はお父

あかね

さんと3人暮らし。だから、家のことをやるのはいつも私たち2人。あ、思い出した！

今日は、健太、洗濯当番だったんだ！あいつ、どこ言ったのよ、ったく。

(驚いた表情)

あかね
溝呂木
あかね
ごめん、ごめん、こわいよね。あとね、健太が、私のことをアンパンマンって言う理由はもうひとつ、あるの。幼い頃、アンパンマンの歌を、2人で歌っていたの。アンパンマンのマーチ。

(表情が変わる)

あかね
溝呂木
あかね
健太が幼稚園の頃、いつしよに歌ってあげてたのよ。本当はお母さんがよく歌ってたんだけど。健太は、まだ幼稚園だったかな。お母さんがいなくなつて、淋しいときは、いつも2人で歌ってた。健太、あの頃、良く言ってたなあ。「お姉ちゃん、アンパンマンの歌、うたお」って。あ、ごめんね、私ばかりしゃべって。

あかね
溝呂木
あかね
ん？
(首を横にふって) . . . 僕も . . .

あかね
溝呂木
あかね
僕も . . . 良く . . . 聞いて . . . ました . . . アンパンマンのマーチ。

あかね
溝呂木
あかね
そうなんだなあ。

あかね
溝呂木
あかね
はい . . . 中学生の頃 . . .

あかね
溝呂木
あかね
中学生？

あかね
溝呂木
あかね
.

あかね
溝呂木
あかね
あ、ごめん . . . でも、何で中学生？

あかね
溝呂木
あかね
. 学校に . . . 行きたくないとき . . . よく聞いて . . . ました . . . 朝、

あかね
溝呂木
あかね
聞いてから . . . 学校に行くんです . . . 今でも、行き . . . たく . . . ないときは、

あかね
溝呂木
あかね
良く . . . 聞きます。

あかね
溝呂木
あかね
そう、だったんだあ . . . でも、わかる気がする。あの歌、元気が出るもんね。

あかね
溝呂木
あかね
(うなづく)

あかね
溝呂木
あかね
それに、私は歌詞も好き。良く聞くと歌詞がいいのよねえ。

溝呂木

はい。

あかね

溝呂木くんも、そう思う？

溝呂木

はい。特に・・・

あかね

特に？

溝呂木

・・・最初の歌詞が・・・

あかね

最初の？

溝呂木

(アンパンマンのマーチの最初の部分を歌う)

溝呂木、歌いながら、昔のことを思い出し、涙を浮かべる。その、様子を見ていたあかね、アンパンマンのマーチを歌い始める。溝呂木、最初は驚くがあかねの優しい歌声に聞き入っていく。いつしか、溝呂木もアンパンマンマーチを口ずさむ。2人が意気投合していく中、あかねが溝呂木の距離を縮めていく。溝呂木は戸惑う様子を見せるが、拒む様子はない。あかね、溝呂木の横に座る。

あかね

(歌いおわり) 平気じゃん。

溝呂木

(恥ずかしそうに笑う)

あかね、2番を歌い始める。溝呂木もそれに続く。そこに教室に神田が入ってくる。神田は仲良く歌う2人に啞然。あかねが男子と並んで座り歌っているほほえましい光景に衝撃を受ける。次の瞬間、何やら思いつき、教室から走り去る。

あかね

久しぶりに歌ったけど、歌えるもんね・

溝呂木

・・・はい。

あかね

あかね。「愛と勇気だけが、友達さ」ってあるでしょ。

溝呂木

(うなづく)

あかね

あそこがせつなくなるのよね。

溝呂木

・・何で・・ですか？

あかね

だって、アンパンマンはあんなに友達がいるのに、なんで「愛と勇気」だけなんだろうって、思わない？なんで「だけ」なんだろうって思うと、なんだか寂しいでしょ。

溝呂木

ああ・・

あかね

やなせさんの本の中にこう書かれてたの。

溝呂木

やなせたかしさん。

あかね

そう。その本の中には、「戦うときは友達をまきこんじゃいけない、戦うときは自分一人だと思わなくちゃいけない」って、書いてあったのね。それを読んだときに、なるほどなって思った。

溝呂木

・・深いですね。

あかね

深いでしょ。ねえ、溝呂木くん。

溝呂木

・・はい。

あかね

愛って何だと思う？

溝呂木

・・愛・・ですか・・

あかね

難しい？

溝呂木

・・はい・・

あかね

難しいよね・・じゃあ、勇気は？

溝呂木

・・勇気・・

あかね

それも難しいよね。

溝呂木

・・何だと思えます？

あかね

私？

溝呂木

はい。

溝呂木

はい。

あかね うーんと・・・わかんない。

溝呂木 ・・・・え？

あかね わかんないけど・・・与えられるもんじゃないと思う。

溝呂木 ・・・・

あかね 待つても、誰も与えてくれないと思う。でも、与えるものでもないと思う。なんか、自分から愛と勇気を与えるなんて、うそくさいでしょ。だから、自分で探して持つしかない。

溝呂木 ・・・・あの・・・

あかね 何？

溝呂木 いつも・・・そんなこと・・・考えてるんですか？

あかね そう見える？・・・いつもじゃないけどね・・・溝呂木くん。

溝呂木 はい。

あかね だから・・・

そこに、甲斐田舞が入ってくる。手にはフルートを持っている。

甲斐田 あかねちゃん！

あかね 舞ちゃん。どしたの？

甲斐田 一曲、吹かせて！

あかね え、なんで？

甲斐田 いいから。いいから。

甲斐田、いきなりフルートで「ウエディングマーチ」を吹き始める。

甲斐田 おめでとー！！！！！！！！

あかね ちよ、ちよと待って。なんで、「ウエディングマーチ」？なんで「おめでとー」？

甲斐田 おめでとー！！！！！！！！

あかね だから、何が？

甲斐田 また、またあ。(溝呂木に) こんにちわあ。私、あかねの親友の甲斐田って言います。

甲斐田舞です。吹奏楽部です。よろしくね。

溝呂木 (とりあえず会釈)

甲斐田 何か不思議な子よね。

あかね どういうこと？

甲斐田 もお、あかねったら早く言いなさいよね。

あかね だから、何を？

そこに、玉井絢香と神田早和が入ってくる。玉井はバレエボールのユニフォームに着替えている。

玉井 きゃあー、本当だー！

神田 ねえ、ホントでしょー

玉井 きゃー、やばい、やばい、やばーい！

甲斐田 絢ちゃん、早和ちゃん。

玉井 舞ちゃん！うれしいよね！うれしいよね！

甲斐田 うん、うん。

神田 ずっと言ってたもんね。

甲斐田 うん、うん。

玉井 できたらお祝いしようって言ってたもんね。

甲斐田 私、さつき「ウエディングマーチ」吹いてあげちゃった！
 玉井 え〜ずる〜い！
 神田 みんなで、いっしょにお祝いしようって約束したじゃない。
 甲斐田 ごめん、ごめ〜ん。
 玉井 え〜、私もなんかしてあげたい。じゃあ、お祝いにアタック見せてあげよっか？
 甲斐田 やだそんなの〜
 神田 とりあえず、みんなでおめでどうを言おう！せーの！
 神・玉・甲 あかねちゃん、おめでと〜！！！！
 あかね ごめん。私、まったくついていけないんだけど。
 神田 も〜何で、リア充の人がテンション低いんですか〜
 あかね え？
 甲斐田 うらやましいなあ。やさしそうな人で〜。
 あかね ええ？
 玉井 初めての彼氏なんでしょ〜！
 あかね え、え、ええええええええ！？
 甲斐田 早く紹介してよ〜！
 あかね いやいやいやいや……
 玉井 そんな恥ずかしがらなくてもいいじゃんね〜
 甲斐田 何でそんな話しになつてんの？
 神田 もう〜、さつき見ちゃったんだから。仲良く並んで、アンパンマン歌ってたところ〜。
 あかね え！あ、いや、あれは……
 玉井 アンパンマン？なんか純粹って感じで良いよねえ。

神田・玉井・甲斐田、「アンパンマンのマーチ」を歌い始める。

あかね
ちよつと待って！みんな勘違いしてる。確かに、私は溝呂木くんとさつきアンパン

マンを歌っていたけど、

玉井
溝呂木くんって言うんだ！

あかね
だからちよつと待って！私は、こんな・・・は！

あかね、振り向くと、溝呂木が寂しげな目で見つめている。

あかね
そう、これが私の彼氏！

みんなの視線が溝呂木にあつまると、溝呂木が、お腹を押さえて、

溝呂木
ああ・・・

何で急にお腹が痛くなるのよ！

溝呂木
ああ、あ！あう！！あう！！！！

え、ここで？このタイミングでくる！？我慢しなさいよ。

溝呂木
あ！あ！！あ！！！！！！

耐えて！耐えるのよ！さつきできたじゃない！きつとできるわ！耐えて！耐えてー！

た、え、ろ！た、え、ろ！！た、え、ろ！！！！

溝呂木
あ！あ！！あう！！！！

た、え、ろ！た、え、ろ！

溝呂木
あ！あ！！あう！！！！

た、え、ろ！何で私るときは長いのよ！

溝呂木
あ、あ、あああ・・・

溝呂木、あまりもの痛さに、壁の方に向かう。

あかね
どしたの？急にどこ行くの？

溝呂木、壁につき、必死に耐える。溝呂木と壁の間に入って、応援するあかね。

あかね
耐えるのよ！耐えて！耐えて！

玉井
見て！壁ドンよ！

甲斐田
すごい！初めて見たー！

神田
人前でやるのってすごくない？！

溝呂木
あ！ああ！ああああ！！！！（なんとか耐えた）はあ、はあ、はあ・・・
あかね
よーし！良くやったー！ばんざーい、ばんざーい！

その様子を呆然と見つめる3人。

神田
なんかすごいものを見ちゃったね。

玉井
愛って人を変えるのね。

甲斐田
私、なんだか涙が出ちゃった。

と、そこで廊下から、声が聞こえる。一人の女性が教室に飛び込んでくる。

柳井
うさみさーん！

あかね
柳井先生！？

柳井 (あかねの手をとり) おめでとー！

あかね (神田に) 先生にも言ったの？

神田 テヘッ？

あかね もう！

柳井 うさみさん、良かったわあ。先生ね。本当に心配してたんだから。小さい頃に亡く

なったお母さんに変わって、不満も言わず家事をしながら弟さんの面倒も見て、でも、いつか、無理がきて、不良になるんじゃないかって。

玉井 不良だってえ。

柳井 この前の面談でも、言ったのよね。もつと遊びなさい。恋をしなさいって。

あかね ええ、はい・・・

柳井 でも、もう大丈夫。彼が、あなたの心の支えになってくれるわ。本当におめでとー！

あかね いえ、あの、先生・・・先生に喜んでもらえてなによりです。

柳井 そう、それとね。校長先生も喜んでたわ。

あかね 校長先生に言ったんですか！

柳井 そうよ。先生方みんながあなたのことを心配してるのよ。

あかね いや、それは・・・

柳井 それと明日の職員朝礼で先生方に報告することになりました。

あかね それはやめて下さい！

柳井 冗談よお。

あかね 先生、真顔で言わないで下さいよ。

柳井 でも、本当に良かったわあ。ねえ、あなたたちも思うでしょ。

神・玉・甲 はい！

柳井 さ、うさみさん、紹介してちょうだい。

あかね え？

柳井 えじやないわよ！彼なんでしょ。

あかね はあ、まあ・・・

玉井 先生、溝呂木くんって言うんですよ。

柳井 まあ、またトリッキーな名前よねえ。さ、うさみさんからちゃんと紹介してちょうだい。

あかね えつと・・・

柳井 さ、早く！

あかね ええつとお、こちらが私の彼・・・男友達の、溝呂木・・・溝呂木・・・なんだっけ？

甲斐田 え、あかねちゃん、下の名前を知らないの？

あかね いや、さつき会ったばかりだから。

神田 えええ！さつき会ったばかりで！

甲斐田 やるうううう！

玉井 速攻？速攻？速攻アタアアック！

神田 絢ちゃん、ちよつとうるさい！

柳井 でも、こういうことつてあるわよねえ。

神田 何がですか？

柳井 男と女つて、理屈じやないのよ。波長があうかどうか。そう、それは人と人のハーモニー

玉井 よつ、さすが合唱部顧問！

柳井 まあまあ。

神田 (柳井をまねして) 人と人とのハーモニー

柳井 違う違う『ハーモニー』

神・玉・甲 (それをまねして)『ハーモニー』

あかね ああ、もう、収集がつかない。あ、先生、そろそろ合唱部に行かなくていいんですか？

柳井 ああ、そうそう、そうでした。はい、じゃあそろそろ彼の声を聞かせてもらおっかなあ。

(溝呂木に) はい、お名前をどうぞ！

溝呂木

(急にふられ困惑した様子)

柳井

あら、なんか緊張してるみたいね。

神田

どんな声かなあ。ワクワク!

玉・甲

ワクワク!

緊張が激しくなっていく溝呂木。お腹を押さえ始める。

柳井

どうしたの?大丈夫?

あかね

この人!極度の緊張症で、話すのが苦手なんです!私もまだしゃべっているところを見たことないんです!

神田

ええええ!それでつきあうことになったの!すごーい!

甲斐田

テレパシー?テレパシーアタアアック!

玉井

絢ちゃん、うるさいって。

神田

でも、さつき2人で「アンパンマン」歌ってたんでしょ。

甲斐田

あつ(そうだった)!

あかね

そうそう、歌ってた、歌ってた。

神田

・・歌なら歌えるんです!というか、歌しか歌えないんです。

あかね

ええええ!それはトリッキーだわ。

柳井

あかねちゃん、どうやってコミュニケーションとってるの?

甲斐田

だから・・歌いながら。

あかね

ええええ!歌いながら話すの?

神田

ミュージカル?ミュージカルアタアアック!

玉井

もう、わかつて!

神田

もう、わかつて!

あかね もういいでしょ。みんな忙しいでしょ！部活もあるし！
甲斐田 あかねちゃん。ちよつと見てみたい！
あかね え、何を。

甲斐田 ミュージカルコミュニケーション！

神田 見たい、見たい！

玉井 やって、やってー！

あかね 柳井せんせー（助けを求める）

柳井 うさみさん、早くやった方が楽になるわよ。

あかね せんせー！

神田 わかった！さっきのがそうでしょ！

あかね え？

甲斐田 ああ、あれ！

玉井 「た、え、ろ！た、え、ろ！」

柳井 なんなのそれ？

あかね ああ！そう、あれ！あれがそう！あれは応援バージョンなのよ。

柳井 先生にも、見せて。

あかね いや、あれはともつかれるんです。（溝呂木に）ね！

溝呂木 （激しくうなづく）

神田 じゃあ、別バージョンで！

あかね いや、急に言われても。

いきなりミュージカルを始める合唱部顧問、柳井。

柳井 ♪さあーはずかしーがらーずー、やってちようだいー！

神・玉・甲 (コーラス) わわわわー！

しかたなくミュージカルにつきあうあかね。

あかね

♪みんなー、あなたのこえー、ききたいってさあー、きかせてー！

調子に乗る合唱部顧問、柳井。

柳井

♪うさみさんは、しっかりものの、いいひと！

神・玉・甲

(コーラス) わわわ、わ！

柳井

♪これからも、うさみさんのー、こーとーをー、よろしくー！

神・玉・甲

(コーラス) よろしくー！

柳井合唱隊、ポーズ。視線を溝呂木に送る。

溝呂木

♪よろしくー

神田

しゃべったー！

玉井

本当にミュージカルでしゃべったー

柳井

歌の力って、素晴らしいわあ！

神田

ばんざーい！ばんざーい！

柳・玉・甲

ばんざーい！ばんざーい！ばんざーい！

みんなが盛り上がっているところに、健太が顔をのぞかせる。

健太 まつきん！まつきん！
松田 どした？
健太 ちよつと見てみるよ！
松田 何？うわつ、人が増えてる。
健太 ゆうすけが女子に囲まれてる。
松田 しかも、笑ってる。
健太 なあ、まつきん。
松田 ん？
健太 人には必ずモテキがくるって本当なんだな。
松田 俺にはまだきてねえけどな。
神田 (2人にかけてより) あ、ちよつと健太くん！
健太 ああ、先輩、いたんすか？
神田 いたんすかじゃ、ないわよ。知ってたんでしょ。
健太 何のことすか？
神田 あかねちゃんに彼氏ができたことよ。
松田 うさみの姉ちゃんに彼氏？！
健太 えっ、それって誰すか？
神田 今、あかねの隣にいる男の子よ！
松・健 ええええええええ！
健太 ゆうすけ？！
松田 あいつ、いつの間に。
健太 俺たちがいない間にどんな話しになっちゃたんだよ。
松田 うさみ、良かったな。
健太 何が？

松田 兄ちゃんができるぞ。
健太 ああ・・・あ、そうなんのか！
神田 なんだ、2人も知らなかったんだ。それなら、早く祝ってあげなさいよ。

健太・松田も、ゆうすけにかけよる。

松田 ゆうすけ、すごい進歩じゃねえか！

健太 すごいぞ、ゆうすけ！ちよつと複雑な気持ちだけど俺も祝福するよ。

松田 おまえ、女子と話しただけでもすごいのに、いきなりかよ。いきなりジャンプかよ。
玉井 違うわよ。速攻よ。速攻アタツツクウウウウ！

神田 あんた、それをやりたいだけでしょ。

健太 な、2人つきりにして良かっただろ。

松田 何事もやってみるもんだな。

柳井 あなたたちが紹介してくれたの？

健・松 はい。

あかね あ、先生、こっちが弟の健太で、こっちが学食によくいる松木です。

松田 呼びすて?! しかも名前がちがう。

柳井 私はうさみさんの担任の柳井って言います。本当に2人ともありがたいがとうねえ。あかねさんには、心の支えが必要だって思ってたのよ。

松田 先生、僕らは当然のことをしたまですよ。

健太 ゆうすけ、それにしてもどうやったんだよ。ゆうすけから言ったのか？

神田 歌いながら伝えたんだって。

健・松 歌いながら?!

甲斐田 それもミュージカルなんだって。

健・松 ミュージカル？！
玉井 アタックZ.O.I.なんだって。
健・松 アタックZ.O.I.？！
健太 そんなことがあんのかよ。
あかね どんどん話しが膨らんでる。
神田 さつき、2人でアンパンマンを歌ってたんだよお。
健太 アンパンマンマーチ！？
神田 そうなの、仲良く並んで、ねえー
あかね あ、うん
健太 そうか！2人を結びつけたものは、アンパンマンだったのか！
松田 ゆうすけ、アンパンマン好きだからな。
健太 姉ちゃんは、アンパンマンに似てるしな。
柳井 2人とも、お似合いじゃない。
玉井 ねえねえ、お祝いに歌ってあげようよ。アンパンマンマーチ！
神田 それいいー！
玉井 せっかくだから、舞ちゃんに演奏してもらおうよ。
神田 舞ちゃん、吹ける？
甲斐田 オッケー！
玉井 さつきがー
柳井 さ、みんな並ぶわよ！

ゆうすけとあかね以外のメンバー、合唱隊のように整列。
甲斐田の演奏に合わせて、「アンパンマンのマーチ」を合唱する。

全員 おめでとー！（拍手）

あかね もうだめ・・・あの・・・みなさん、ちよつといいですか？

神田 え、なに？

あかね みなさんに言わないといけないことがあります。

玉井 どしたの？急にあらたまつて。

健太 どうしたんだよ。姉ちゃん。

あかね あのー、そのー、私と溝呂木くんは・・・つきあつてるわけじゃないんです・・・

全員 えー！

玉井 えー！ちがうの！

甲斐田 何それー？

神田 あかね！

あかね ごめんなさい！

松田 おい、ゆうすけ、どういうことだよ。

溝呂木 （困惑）

松田 ちよつとこつち来いよ。

溝呂木とまつきん、教室の隅に行つて、話し始める。

柳井 うさみさん、どういうこと？

あかね いやー、みんながあんまり喜ぶもんだから、言い出せなくなつちやつてえ・・・

柳井 うさみさん！

神田 でも、さつき、2人で仲良く歌つてたじゃない。

あかね ああ・・・あれは・・・いろいろあったのよ、とにかく、そういう関係じゃないの。

あかね ごめんなさい！！！！

神・甲・玉

あかね！

健太

姉ちゃん、早く言えよ。

あかね

ごめんなさい。

神田

喜んでそんなしちゃったあ。

甲斐田

私なんか、お祝いにフルーツ吹いたのに。

玉井

私だって、アタックしたのに。

柳井

先生も、さつき他の先生に言っちゃったのに。

あかね

やっぱり言ってるじゃないですか！

柳井

ごめん、ごめん。後で訂正しておくから。

松田

ゆうすけも言ってます。「自分も言えずにごめんなさい」って。

あかね

いや、私が悪いの。溝呂木くん、ごめんね。

溝呂木

(頭を下げる)

松田

あと、こうも言ってみました。「自分にも選ぶ権利があるから」って。

あかね

ちよつと待ちなさいよ！

松田

わああああ、すみません！今のは僕が作ったことです。

あかね

いいかげんにしなさいよ！（まつきんの横腹にパンチ） ったく！

健太

まつきん、今のはないな。

神田

ねえ。

甲・玉

ないない。

健太

完全に姉ちゃんに嫌われたな。

松田

ええ………

溝呂木、松田の手を引つ張る。

松田 まだ、なんかあんのかよ。

溝呂木 (耳打ち)

松田 どういう意味だよ。

溝呂木 (首を横にふる)

松田 それ伝えた方がいいのか。

溝呂木 (首を横にふる)

健太 何だよ。

松田 あ、いやね。こいつ、言いたいことがあるらしいんだよ。

そこに、教室に鈴木と田所が入ってくる。

鈴木 うわっ、何これ？

田所 いっぱいいる〜

2人、周囲の視線を気にしながら、自分の机まで移動する。

鈴木 失礼しまーす。

2人、自分達の机の近くにいる溝呂木が目に入る。

田所 うわっ

2人、顔を見合わせ、笑う。溝呂木の表情が厳しくなる。2人は、ヒソヒソ話しをしながら、帰り支度を始める。溝呂木、いたたまれなく、足早にドアに向かう。教室

から出ようとする溝呂木の手をつかみ止めるあかね。あかね、2人に向かって、

あかね
(2人に)笑うな!

驚いた様子の田所と鈴木。

鈴木
え?

あかね
だから、笑うなって言ってるのよ。

田所
どういうことですか?

あかね
さつき、この子のこと見て、笑ったでしょ。見てたんだから。

鈴木
笑ってないよねえ。

田所
うん。

あかね
笑ってたでしょ。

田所
笑ってません。

神田
みんな見てるんだからさ。

田・鈴
(無言)

あかね
認めなさいよ。

鈴木
別にあの子のことを笑ったんじゃないやありません。

田所
そうですよ。普通に話してただけなのにねえ・

あかね
認めなさいよ。

鈴木
さつきからなんですか?

田所
すみません。あなた、誰ですか。

あかね
私は……(溝呂木の手をひっぱり)この子の友達よ!

田・鈴
え!

2人、顔を見合わせるて笑う。

あかね
それをやめなさいって言ってるのよ！

田所・鈴木、笑うのをやめ、驚いた表情。

あかね
あんたたち、感じわるいよ。

2人、あかねをにらむように見る。

柳井
はい、そこまで。あなたたち、このクラス？

・・・・・はい。

柳井
じゃあ、担任は葛城先生だ。

・・・・・はい。

柳井
いつもそんな感じなの。

(無言)

柳井
あなた達にとつてはいつもやってることだろうから、わからないと思うけど、端から見ると不愉快なのよ。笑われている人はもちろんいやだし、それを見ている人も。

(無言)

柳井
大人になってもそうやって生きていくつもり？いつまでも中学生じゃないんだから、早く卒業しなきゃ。

(無言)

柳井
田・鈴
わかった？

田・鈴

(無言)

柳井

だーかーらー、そういう態度が良くないのよ。わかった？

田・鈴

・・・はい。

田所

・・・もう帰っていいですか。

鈴木

用事があるんです。

柳井

どうぞ。

田所と鈴木の2人、無言で教室から出て行く。

玉井

何！あの態度！

柳井

まあ、玉井さん。とりあえず、担任には報告しとくわ。またゆっくり話しをしてもらおうわ。

玉井

ああもう！腹たったあ。

溝呂木、あかねに頭を下げる。

あかね

あなたのために言ったんじゃないから。

溝呂木

(驚きの表情)

あの子たちの態度にカチンときたから言っただけ。

溝呂木

(うつむく)

あかね

溝呂木くん。

溝呂木

(顔を上げる)

あかね

逃げちゃダメよ。

溝呂木

(戸惑い)

あかね

逃げちゃダメ。今逃げたら、また逃げたくなる。あなたに昔、何があつたかは知らない

溝呂木

けど、昔の自分のままでいいの？今、あなたはここにいる。だから・・・逃げずに戦わなきゃ。愛と勇気で戦わなきゃ。アンパンマンだって、愛と勇気だけで、戦ってるんだから。
(泣き始める)

微妙な空気が流れる。そんな中、あかねが溝呂木を励ますように歌い始める。

あかね

(アンパンマンのマーチの一節を歌う)

声を出そうと必死な表情の溝呂木

あかね

(アンパンマンのマーチの同じ一節を歌う)

歌おうとする溝呂木。それを見守る生徒達。

あかね

(アンパンマンのマーチの同じ一節を歌う)

途中から、健太も一緒に歌い始める。次々に周囲の声が続く。最後に甲斐田のフルートに合わせて、全員の声が重なる。

全員

(アンパンマンのマーチの一節をを歌う)

溝呂木、声を絞り出すように歌い始める。

溝呂木

(アンパンマンのマーチの続きを歌う)

あかねが、続く

あかね
(さらに続きを歌う)

全員が続く。

全員
(アンパンマンのマーチの最後まで歌う)

いつしか溝呂木も大声で歌い上げている。
溝呂木の目から、とめどなく涙がこぼれる。

松田
ゆうすけ・・・保健室にもどるか？

溝呂木
(うなづく)

柳井
先生がいつしよに行くわ。

松田
いいすよ、こいつ、俺の方が慣れてるし。

柳井
いいから、いいから。担任の先生にも連絡しなきゃならないし。

松田
ああ、それなら。

柳井
じゃ、みんな早く帰るのよ。

神田
はーい。

柳井、溝呂木をつれて教室に出て行く。

甲斐田
大丈夫かな、あの子。

松田 大丈夫ですよ・・・たぶん。
玉井 たぶん？
松田 いや、そりゃあ、うさみのお姉さんから、言われたのは、ショックだったと思いますよ。
健太 姉ちゃん、言葉が強いんだよね。
あかね・・・ごめん。
松田 でも、あんなに大きな声で歌ったゆうすけ、初めて見ました。
健太 そつか・・・
神田 良かったんじゃない。
あかね ん？
神田 良かったんだよ、きつと。彼とは初めて会ったけど、彼も私たちとは初めてなんだし。
あかね その中であれだけ自分を出せたんだから、良かったと思うよ。
玉井・・・ありがと。
玉井 それにしても、泣けたわあ。
甲斐田 何が。
玉井 アンパンマンのマーチ。
甲斐田 ああ。
玉井 久しぶりに歌ったけど、良い歌よねえ。
甲斐田 歌詞も良いし。
玉井 ああ、でもなんでアンパンマン？
あかね それは、もういいから。それより、みんな良いの？部活あるんでしょ。
玉井 ああ、やばーい！また、顧問に怒られるう！
あかね がんばれ！アタックNo.1！
玉井 よし！アタアアック！

玉井、教室から走り去る。

甲斐田　じゃあ、私も行くね。

あかね　コンクール、がんばって！

甲斐田　本当に彼氏ができたら、また吹きにくるね。

あかね　いいって。

神田　じゃあ、あかね、また明日ね。

あかね　早和ちゃん、何しに戻ってきたの？

神田　それは、健太くんが宿題を手伝ってって言うから、

健太　ああ、先輩！それは言っちゃ！

あかね　早和ちゃん、健太を甘やかさいで！健太！自分のことですよ。自力でしなさい！

健太　わかってるって。

神田　健太くん、ごめんねえ。じゃ、そういうことだから自分でがんばって！

健太　はい。

神田　じゃあ、あかね、帰るわ。

甲斐田　じゃあね。

あかね　うん。じゃ。

神田・甲斐田、教室を出て行く。

松田　じゃあ、僕もそろそろ。

あかね　まだいたの？

松田　やっぱり嫌われてる。

あかね　冗談よ。冗談。

松田 お姉さん、目が笑ってませんよ。
あかね 松田くん！
松田 はい！
あかね 溝呂木くんによろしく伝えておいて。
松田 はい、わかりました。じゃあ、帰ります。
健太 じゃあな。
松田 じゃ。

まつきん、帰りかけるが立ち止まり、振り返る。

松田 あ、そうだ。ゆうすけが言ったことなんですけど。
あかね 何のこと？
松田 さつき、ゆうすけが恥ずかしがって言えなかったことです。
あかね ああ。
健太 何て言ったんだよ。
あかね 私も聞きたい。
松田 「やっぱり、僕はアンパンマンが大好きです」って。じゃ。

M. 「アンパンマンのマーチ」（一青窈）

まつきん、教室から出て行く。
2人きりの教室。いくつかの机が動かしている。健太、それを見て、

健太

戻すか。

健太、動いている机をもとに戻し始める。しばらくすると、あかねも手伝う。

健太　ありがと。・・・姉ちゃん。良かったじゃねえか。好きになつてくれる人がいて。

あかね　どういう意味よ。

健太　つきあっちゃえば。

あかね　何言つてんのよ。

健太　まんざらでもないんじゃない？

あかね　しつこいよ。

健太　ごめん、ごめん・・・でも、やっぱ、姉ちゃんはアンパンマンだな。

あかね　顔が似てるって言いたいんでしょ。

健太　それだけじゃねえけどね。

あかね　やっぱり似てるんじゃない。

健太　それだけじゃないって。

あかね　じゃ、何よ。

健太　愛と勇気を持つてるから。

あかね　（ほほえむ）・・・さ、さきに帰るよ！今日の夕飯と洗濯は健太だからね。

健太　そうでしたー

あかね　さっさと宿題終わらせなさい。

健太　はい。

あかね　じゃあね。

健太　じゃ。

あかね、教室の入り口に向かう。

健太 姉ちゃん！

あかね ん？

健太 みんな大好き！

あかね アンパンマン！

アンパンマンのポーズをするあかね。

教室があかね色に染まっていく。

おわり

【引用】劇中の歌詞ややなせさんの言葉は、全国高等学校演劇協議会の定める『引用』の条項を、満たしているため、以下の文献および歌詞より引用させていただきました。

(文献)『わたしが正義について語るなら』(やなせたかし)ポプラ社

(引用ページ P32: 引用部分には波線をしています。)